
俺は彼女の操り人形

だいふく

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺は彼女の操り人形

【Nコード】

N3368Y

【作者名】

だいふく

【あらすじ】

平凡な高校生だった沢良帝人。

ある日不思議な能力に目覚めてしまった…。

そしたら急にポニーテール美少女が現れたりもう大変！

学園アクションストーリー開幕っ

序章（前書き）

変だろっなあ

序章

「あんたはあたしの操り人形マリオンネットにならなきゃならないのよ!」

突然現れた少女からこんな事を言われたら驚くだろ？

それが俺の身に起きちまったんだ。

俺は沢良帝人さわらみかぢっていう平凡な高校2年生……………だった。

つい1週間前までは…。

1週間前、俺のペンが机の上で急に揺れ始めたんだ。

最初は地震かと思ったんだがな。でもペンだけが揺れているんだ、地震な訳がない。

その日は気にしなかったんだが、次の日から次第にそんな現象が激しくなり始めたんだ。

三日ぐらいしたらものが浮くようになってしまった。
どうしようこれ…。

そして今日になった。

今日は休みだったから久々に家でぐうたらしていようと思ってたんだよな。

そんな考えだったからリビングの窓際にあるソファで寝ていたんだ。

そしたらなにが起きたと思う？

窓ガラスを割って人が飛び込んで来たんだよ！

それは綺麗な少女だった。

歳は15歳くらいか。金髪のポニーテールで顔は外国人のように整っている。

身長は俺より20cm位低い感じだから155cmってところかな。

服装は普通の女子高生が着てそうなタンクトップにミニスカートだ。

胸は……、結構あるな…。

そんな容姿の少女は飛び込んできた勢いのまま、俺にぶつかってきた。

「痛え！」

「痛っ！」

俺とこいつはおでこ同士をぶつけちまった。

俺は石頭だからなんともなかったが、少女は悶えている。

「だ…大丈夫か？」

すると彼女は立ち上がり左手でおでこを擦りながら俺に向かって「あんたはあたしの操り人形コントロールにならなきゃならないのよ！」
右手をこっちに向けて伸ばし人差し指だけを立てて、言った。

………はい？

「えと、何言ってるのかわかんないんだけど」
わかるわけない。

「だからあんたは今日からあたしの操り人形になるの」
それがわかんないんだよ。

「操り人形？」

疑問に思ったフレーズだ。

彼女も説明はしてくれそうだ。

「要するに…」

思わず唾を飲んでしまう。

彼女は目にかかった前髪を払いながら

「俺は沢良帝人だ、これからどうなるかわからないがよろしく頼む」
はぁ、心配だ…。

ルカが笑顔で話してくる。

「うん、こちらこそよろしくっ、帝人！」

その笑顔は不安なんか全部吹き飛ばしてくれた。

序章（後書き）

初めてのオリジナル作品です。

感想や改善点など、あればお願いします！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家なるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3368y/>

俺は彼女の操り人形

2011年11月8日01時06分発行